

岡本町（枚方市）における暑さ対策の手引き

岡本町（枚方市）

2016年2月24日

## はじめに

この文書の目的は、平成 28 年度以降における岡本町（枚方市）での暑さ対策・ヒートアイランド適応策の取組について計画として示し、対策等の具体的な実施方法や関係主体の役割分担を明確にすることです。平成 28 年度以降の夏期において、岡本町町内会・枚方市をはじめ関係主体が、この取組を実施します。また、取組の成果や課題を明らかにした上で、より持続的な適応策の方法を導き出していきます。

文書では、主な項目として、この事業の対象範囲、平成 27 年度に実施する取組の内容、組織体制、年間スケジュールを示しています。必要に応じて、取組にあたっての補足の説明を追加しています。

この取組計画の内容については、各年度の町内総会で確認をおこなう予定です。実施期間の前後では、計画の調整及び修正をおこなうための話し合いの機会を設けます。

この文書は、平成 25 年度～平成 27 年度にかけて実施された環境省「ヒートアイランド適応策モデル事業」での「取組計画」を基礎として、作成されました。

---

## 目次

はじめに	2
1. 暑さ対策（ヒートアイランド適応策）の対象範囲	3
2. 夏期において実施する取組の内容	3
3. 実施する体制	4
4. 実施スケジュール	4
補足① 備品等の所有者・管理者と譲渡	7
補足② 各適応策の運用・管理手順	8
補足③ 枚方市における今後の取組について	9
補足④ 打ち水等の取組に関する聞き取り調査の結果	10
補足⑤ 暑さ対策の効果	12

## 1. 暑さ対策（ヒートアイランド適応策）の対象範囲

枚方市岡本町の街路空間を対象として、暑さ対策（ヒートアイランド適応策）を実施します。具体的には、岡本町伊加賀本町1号線を中心とした地域であり、以下に示す図の範囲です。



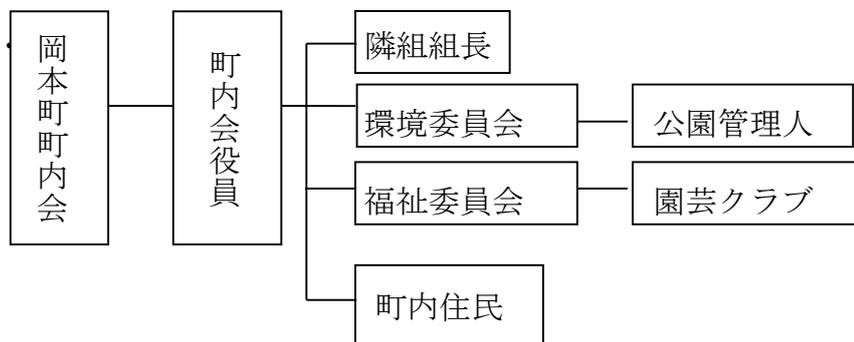
## 2. 実施する取組の内容

実施する主な暑さ対策（ヒートアイランド適応策）の取組は以下の項目です。

- ① 岡本町での日々の打ち水
- ② 五六市などイベント開催時の岡本町公園を含むエリアでの打ち水
- ③ 京街道沿い駐車場におけるフェンスの緑化の取組
- ④ 下之町井戸公園の管理・利用
- ⑤ ガーデニング

上記の対策と併行して、水源となる井戸・雨水タンクの管理、対策効果の周知・対策の持続性を高める啓発（ふるさと絵図）等の取組、次年度以降の取組について検討する取組、を実施します。

### 3. 実施する体制



・ 一般社団法人枚方宿くらわんか五六市（枚方宿地区まちづくり協議会）

・ 枚方市

平成 28 年 3 月の事業終了以後、「一般社団法人環境情報科学センター」は実施体制に含まれなくなる。「近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）」、「環境省（大気生活環境室）」は以下の役割を継続して担う。

主体名	役割
近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）	モデル事業実施地域での環境教育・協働取組の推進のための相談対応・情報提供
環境省	モデル事業の成果の情報発信

### 4. 実施スケジュールと役割分担

実施スケジュールは次ページ以降のとおりである。

岡本町（枚方市） 年間スケジュール表 【暑さ対策】	担当者	準備期			前期			中期			後期			備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

ア. 暑さ対策の取組

① 岡本町での日々の打ち水	1) 打ち水について町内周知	町内役員	●町内会総会での呼びかけ	■回覧での取組周知	掲示板でのお知らせ	●町内会集会での呼びかけ	■回覧で取組の報告							
	2) 打ち水と併せた取組	隣組組長		打ち水とあわせて、植栽への水やり	声かけ・ご挨拶									
	3) 日々の打ち水	各戸住民												
② 五六市での打ち水	1) お知らせと協力の呼びかけ	枚方宿くらわか五六市	協議会・理事会などでのお知らせ	ブログなどでのお知らせ			協議会・理事会などでの報告							
	2) 五六市での打ち水	枚方宿有志		●五六市での打ち水	●五六市での打ち水									
③ 下之町井戸公園の管理・利用	1) 公園の管理	公園管理人		日常点検（水道・電気の管理含む）										
	2) 植栽の管理	園芸クラブ		植栽の管理（主に水やり）										
	3) 簡易清掃（落ち葉等）	園芸クラブ	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃	●清掃
	4) 公園の利活用	各戸住民・町内会		●五六市の水遊び	●五六市の水遊び	●地藏盆								
	5) フラクトタル日よけ	園芸クラブ		●5月第2土曜に設置			●10月第2土曜に撤収							

岡本町（枚方市） 年間スケジュール表 【暑さ対策】	担当者	準備期			前期			中期			後期			備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

ア. 暑さ対策の取組（つづき）

④フェンスの緑化	1) 準備	町内会ほか*	■	5月	下旬	①土づくり ②苗の植え付け ③ネットの取り付け									
	2) 水やりなどの日常管理	町内会ほか				摘芯 水やり・つるの手入れなど									
	3) 片づけ	町内会ほか							■	枯れた植物の処理と覆土(9月第2土曜)					
⑤地域の緑化	1) 植え替えと水やり等	各戸住民				■ 6月植え替え 水やりなど				■ 10月植え替え					
	1) 風鈴の設置	各戸住民				風鈴の取り付け									

\*枚方市は取組をサポート

イ. 暑さ対策について普及啓発する取組

①広報活動	1) 地域イベントからの発信	五六市ほか				●五六市での打ち水 ●五六市での打ち水									
	2) HP・環境学習会での紹介	枚方市など													
	3) 報道提供	メディア													
②啓発活動	1) 町内での啓発	岡本町						ふるさと絵図							
	2) 副読本等での啓発啓発	枚方市						●一斉打ち水 緑のカーテン エコライフつうしんぼ					環境副読本		

ウ. 手引きの見直し・修正

①暑さ対策の手引きの見直し	1) 取組内容の振り返り・修正	町内会ほか														毎月の役員会
---------------	-----------------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------

## 補足① 備品等の所有者・管理者と譲渡

### 1) 所有者及び管理者

平成 25 年度に購入・整備した備品等の所有者と管理責任は以下の通りとした。

表 備品等所有者と管理者

導入する 適応策	関連する 備品等	所有者	管理者
街道への 打ち水	木桶	桶を所有する町内会各位	桶を所有する町内会各位
	風鈴	風鈴を所有する町内会各位	風鈴を所有する町内会各位
	雨水タンク	雨水タンクを設置した町内 会各位と岡本町町内会	雨水タンクを設置した町内 会各位と岡本町町内会
	個人井戸の 配管	羽田氏/宮川氏	羽田氏/宮川氏
下之町井戸 公園	公園施設一 式（水道*・ 電気含む）	岡本町町内会	岡本町町内会

\*里道の水道は枚方市に寄贈した。

### 2) 管理者の責任

木桶・風鈴等の紛失・破損の場合は、原則として、岡本町町内会が負担する。

また、下之町井戸公園の管理に伴う費用（電気料金・水道料金等を含む）は、原則として、岡本町町内会が負担する。

### 3) 所有権の所在

事業で構築した公園施設一式は、完成と同時に岡本町町内会の所有となる。

補足② 各適応策の運用・管理手順

表 運用・管理手順

適応策	項目	実施時期	実施者	詳細
打ち水の 実施	住民への周知	4月～7月	岡本町	集会、回覧板、掲示板、などで周知
	日常での打ち 水の実施	7月～9月	桶を配られた 人	毎日夕方に実施（ただし晴れの日 のみ） 適切な打ち水量：街路1㎡当たり 1L
緑化フェ ンスの育 成管理	植え付けの準 備	5月から準 備	岡本町（園芸ク ラブ）	枚方市は取組をサポート
	植物への水や り	夏期	岡本町（園芸ク ラブ）	
風鈴の設 置	住民への周知	4月～7月	岡本町	集会、回覧板、掲示板、などで周知
	設置	7月～9月	風鈴を配られ た人	台風や大雨の際は屋内で保管
下之町井 戸公園の 管理	簡易清掃	毎月第2土 曜	岡本町	清掃箇所：公園
	水道料金・電 気料金	毎月	岡本町	
	日よけ	毎年5月第 2土曜に設 置。10月第 2土曜に撤 収。	岡本町	
	故障時の対応は、専門業者に依頼する。その場合の費用は、原則として、岡本町町内会が負担する。			

## 補足③ 枚方市における今後の取組について

枚方市環境保全部環境総務課

### ○普及・啓発

平成 25 年度から行ってきたモデル事業において、重点的に適応策として取り組んできた「打ち水」及び「緑のカーテン」の取組や効果を紹介し、市民全体に取り組んでいただけるよう、普及・啓発を行います。

#### 1. 子ども向けの普及啓発

##### ●環境副読本の活用

市内小学校高学年向けに配布している環境副読本の中に、「打ち水」及び「緑のカーテン」の取組効果等を記載し、普及・啓発を行います。

※平成 28 年度版の環境副読本に記載予定

##### ●エコライフつうしんぼの活用

市内小学校高学年向けに配布しているエコライフつうしんぼの中に、適応策の取組を記載し、普及・啓発を行います。

今年度から夏に取り組んでもらうエコライフ活動の中に、打ち水の項目を追加しました。

このエコライフつうしんぼは、4076 人の小学生に取り組んでいただき、82 人が打ち水を実践してくれました。

#### 2. 市民向けの普及啓発

##### ●各種環境イベントや出前講座での普及啓発

市で行っている環境イベントや出前講座において、モデル事業の取組や効果を示したパネルを掲示し、普及・啓発を行います。

【例】五六市当日に使用した紹介パネル

### 水を活用した取り組み

#### ○打ち水の実施



岡本町では、日々、地域で打ち水を行っており、さらに7月、8月には五六市の開催にあわせて一斉打ち水を行っています。打ち水により地表温度の低下や気温の低下が期待できます。打ち水に使用する水は、雨水や井戸水を利用しています。

一斉打ち水



【打ち水に使う桶】  
今後も愛着を持って使っていただけるように、職人手作りの杉製の桶に、ひとつひとつ「枚方宿」と文字を入れました。



雨水タンク



井戸水

### 日陰や緑陰を活用した取り組み

#### ○緑のカーテンの設置

葉の蒸散や直射日光を遮ることにより、温度上昇を和らげます。また、ミストを導入し、さらなる涼を届けます。



緑のカーテン

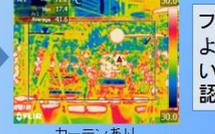
拡大



緑のカーテン



カーテンなし  
30.0



カーテンあり  
30.0

フェンスの緑化により、暑さが和らいでいることが確認できました。

熱画像：一般社団法人 環境情報科学センター提供

##### ●ひらかた環境ネットワーク会議との連携

市民団体と連携し、適応策の実践や普及・啓発を行います。

例えば、ひらかた環境ネットワーク会議で行っている環境出前講座において、小学生と一緒に打ち水を実践し、打ち水の取組を広げます。

#### 補足④ 打ち水等の取組に関する聞き取り調査の結果

平成 25 年度から平成 27 年度にかけて枚方市岡本町をモデル地区とする環境省・ヒートアイランド適応策モデル事業が実施されてきた。その一環として、平成 25 年度の夏より、岡本町を含む枚方宿の希望者へ木桶と風鈴を配布し、打ち水などによる暑さ対策の取組をおこなってきた。今後の暑さ対策のあり方を検討する材料とするため、これまでの取組について地域でのヒアリングを実施した。

ヒアリングは、2015 年 12 月 16 日～24 日にかけて、対象者の店舗・住居を訪問しておこなった。対象者は枚方宿の 9 名へのインタビューをおこなった。①打ち水など暑さ対策の取組をおこなって良かったこと、②難しかったこと・困ったこと、③暑さ対策を継続するために大事なこと、④暑さ対策を含むまちづくりの方向性・目標像、についてうかがった。インタビューは、それぞれ 20 分～1 時間程度実施した。

結果から抜粋した内容を以下に掲載した。暑さ対策としての効果以外では、身近な環境への愛着の増進、人と人のつながりの強化などの効用が指摘されている。

#### ①打ち水など暑さ対策の取組をおこなって良かったこと

##### 【木桶】

木桶での取組をおこなうことで涼しげで、清潔になった。
木桶であると通行人を気遣いながら、水を撒けるので良い。
木桶での取組は風情があってよかった。木桶はいい看板になった。
近所の人のコミュニケーションのツールとして考えられていた。声かけをおこなうことができた。また、子供が帰ってきて打ち水すると、楽しい思い出となった。こうした取組は、町への愛着を持たせることにつながるだろう。環境問題を解決する行動を、「打ち水」として手軽に経験できた。
主に人力での取組であったため、維持管理費用の面で有利であった。
木桶という道具を揃えていくことで街道筋での協力体制が出てくるようになった。共通した木桶を使うことで、気持ちでの一体感、つながりの強さを感じた。コミュニケーションが深まった。
ヒートアイランド対策として、効果のある取組を町に違和感のないかたちでおこなえた。(大きな効果はすぐ目に見える形にならないもの。)

##### 【その他】

緑のカーテンや公園清掃などが、町内の園芸クラブの活動として定着した。町内でのコミュニケーションの機会が増えた。まちの美化ともあわさって、ポイ捨てが少なくなった。
個人井戸の利用者が多かった。街道沿いの氷屋への動線上にあり、高校生・子連れの母親が立ち寄っていた。楽しめるポイントになった。

#### ②難しかったこと・困ったこと

打ち水をイベントとする場合には、パフォーマンスとして見せることに毎回の工夫必要であった。
取組内容などの、地域での告知に工夫があればさらに参加がうながされると思う。
人によって、サイズや形などが合う木桶は違っていた。

### ③暑さ対策を継続するために大事なこと

さまざまな形をかえて取組を続けていくことが大事である。 気持ちを新たにするために、季節ごとの情報提供をおこなうことも必要だ。各町自治会長による声かけが大変大事であるだろう。
楽しいこと、愛着が出て、お金がかからない。しんどい参加できる。建前でもよいので行動することができる。そのように行動につなげるきっかけをたくさん作ることが大事。また、失敗しても、行動を続ける。はじめたときには情報は揃っていないと思われる。継続して、成功につなげていく考え方が大事だ。
暑さを含む環境について勉強する機会をつくる。課題や優れた事例を共有することが可能である。身に付いた知識を盗まれない。若者から年寄りまでが勉強する姿を「こども」が見るのが大事ではないか。小学生が知識を得て、体験する、興味がわく機会をつくることも必要。
楽しさと同時に、少しおしゃれな感じがあると、若い人にも訴えることができる。日常の取り組みにも、地域外の方にアピールできる要素がたくさんある。地域の中の人に、もっと知ってもらおうと広がっていく。
園芸クラブのような普段からのつながり。きっかけとしての緑化が大事である。そこへの水やりという動きは自然である。
枚方市の歴史文化を生かしたまちづくりをもっとおこなう必要がある。

### ④暑さ対策を含むまちづくりの方向性・目標像

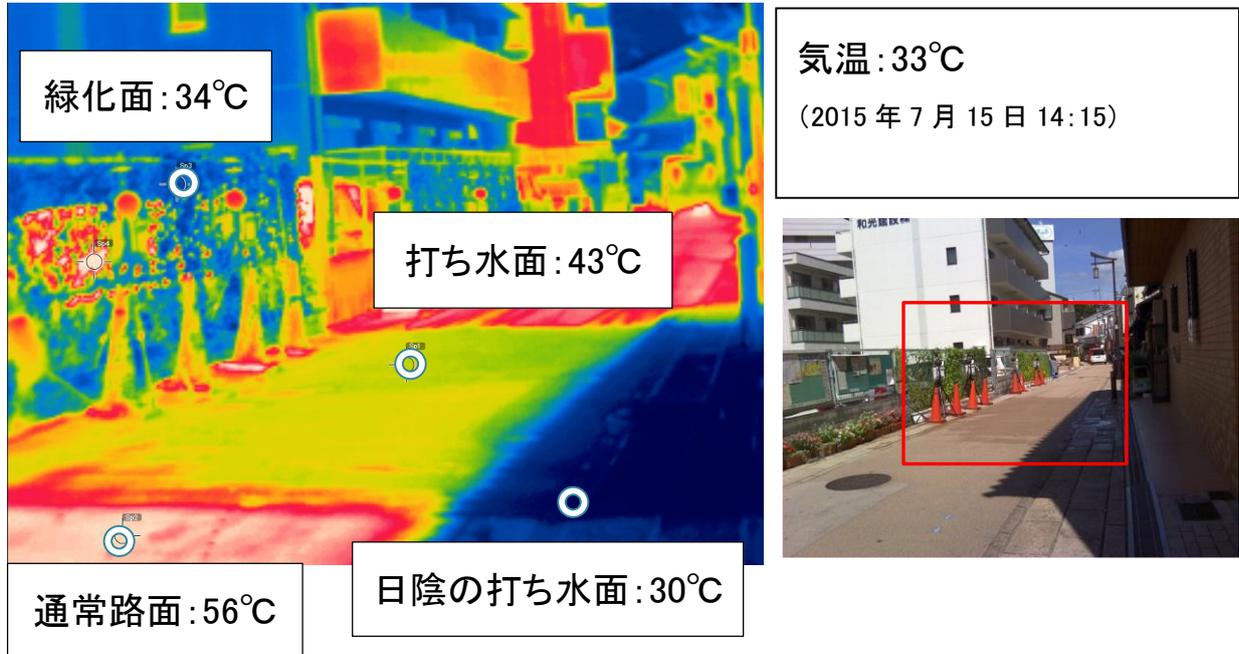
にぎわいのある町。店を連ねる街道。もう少しお店を増やし、歩いている人に、楽しんでいただくこと、見ていただくことができる町がよい。
打ち水を含めて、力を合わせて取り組む楽しさ、心のきずなを感じられる町となることを望んでいる。町に住み続け、次の世代も住み続ける町であってほしい。後を継いでいく人が現れつづけるような町であってほしい。
京都・大阪・神戸から近い距離にあって、特別な観光地があるわけでもない枚方の地域性をふまえる。365日すべてが非日常ではなく、120日が非日常で、それ以外は日常というようなメリハリのある町が暮らしよいのではないか。その暮らしの中に打ち水がある。枚方ではあたりまえの風景となって、生活の中に織り込まれた取組であることが大切だ。

## 補足⑤ 暑さ対策の効果

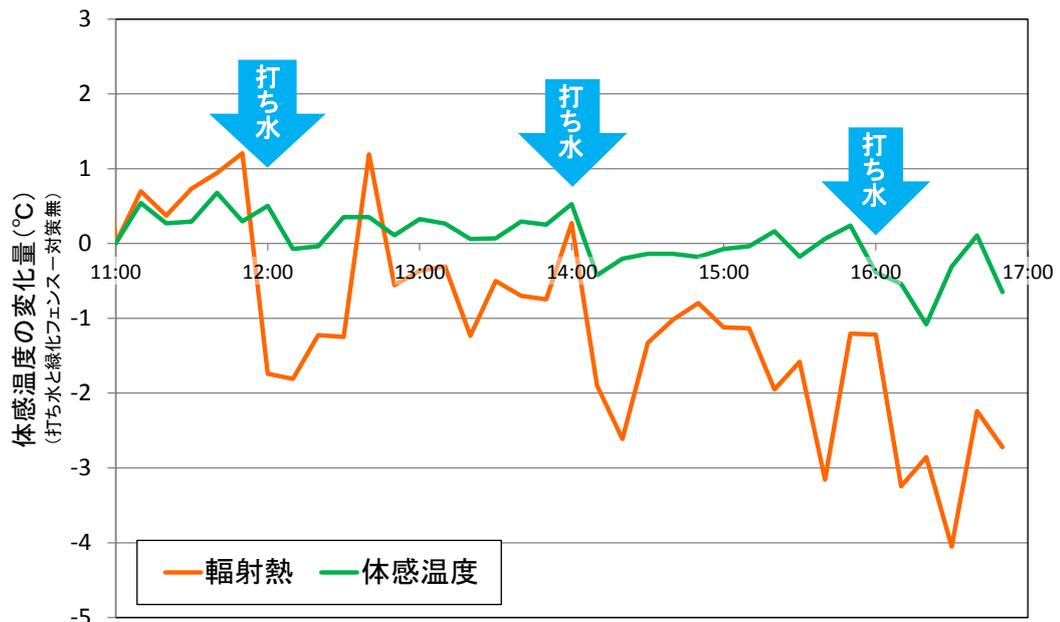
### 1) 打ち水と緑化フェンス

街道に打ち水することで、昼間の路面の温度が 10～15℃下がります。特に日陰に打ち水したところは気温より下がり、ひんやりします。

街道沿いの駐車場の路面が熱くなり、輻射熱を出しますが、フェンスを緑化することで低減できます。



実際に測定してみると、打ち水により人が受ける輻射熱が 2～4℃程度低下し、特に夕方の効果が高くなっていました。気温や風なども含めた体感温度では、0.5～1℃程度低下し、やはり夕方の効果が高くなっていました。



※輻射熱：平均放射温度 MRT のこと。体感温度：標準有効温度 SET\*のこと。

## 2) 井戸公園

井戸公園は、イロハモミジが成長すると木陰を作りますが、現在は樹木の葉っぱのような日除けが日差しを遮り、池には水が溜められてその表面は 28℃でした。

そのため気温が 32℃のときにも、池の上の体感温度は 30℃と涼しくなっていました。

